

榮花物語

自二十一
至二十二

後悔大將
とりのまに

和書		二七四七	
内閣文庫			
番號	和	27473	
冊數	21	(12)	
函號	203	70	

二一冊



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak



Red rectangular stamp at the top of the left page.

後悔なほ

Main handwritten text in cursive style, enclosed in a black rectangular border.

Red rectangular stamp on the right side of the left page.

内
閣

へあるべし。おそろしき事あり。ひまひまにせ
らるるのいふ。いふ。いふ。いふ。そのいふ。い
ぬ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。い
す。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。い
あ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。い
と。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。い
せ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。い
ち。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。い
お。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。い
と。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。い
ら。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。い

いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。い
ら。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。い
や。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。い
そ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。い
お。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。い
と。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。い
あ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。い
い。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。い
お。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。い
し。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。い
ま。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。いふ。い

111
112
113
114
115
116
117
118
119
120
121
122
123
124
125
126
127
128
129
130
131
132
133
134
135
136
137
138
139
140
141
142
143
144
145
146
147
148
149
150
151
152
153
154
155
156
157
158
159
160
161
162
163
164
165
166
167
168
169
170
171
172
173
174
175
176
177
178
179
180
181
182
183
184
185
186
187
188
189
190
191
192
193
194
195
196
197
198
199
200

201
202
203
204
205
206
207
208
209
210
211
212
213
214
215
216
217
218
219
220
221
222
223
224
225
226
227
228
229
230
231
232
233
234
235
236
237
238
239
240
241
242
243
244
245
246
247
248
249
250
251
252
253
254
255
256
257
258
259
260
261
262
263
264
265
266
267
268
269
270
271
272
273
274
275
276
277
278
279
280
281
282
283
284
285
286
287
288
289
290
291
292
293
294
295
296
297
298
299
300

一ノ
二ノ

まゝのまゝにたゞしに
 かゝりたるものごと
 とのちをふりかへ
 せしむる事かゝり
 のちをふりかへし
 る事かゝりたる物
 事かゝりたるもの
 のちをふりかへし
 る事かゝりたる物

ことごとくたゞし
 ことごとくたゞし
 ことごとくたゞし
 ことごとくたゞし
 ことごとくたゞし
 ことごとくたゞし
 ことごとくたゞし
 ことごとくたゞし
 ことごとくたゞし
 ことごとくたゞし

とててつりあふゆきしつらあおは
へはとつささそはつらあはつらあ
しつらあひつらあひつらあひつらあ
うありつらあひつらあひつらあ
ろぐありつらあひつらあひつらあ
またつらあひつらあひつらあ
あつらあひつらあひつらあ
よつらあひつらあひつらあ
まらつらあひつらあひつらあ
もつらあひつらあひつらあ
たつらあひつらあひつらあ

つらあひつらあひつらあひつらあ
あつらあひつらあひつらあひつらあ
まらつらあひつらあひつらあ
もつらあひつらあひつらあ
たつらあひつらあひつらあ
つらあひつらあひつらあひつらあ
あつらあひつらあひつらあひつらあ
まらつらあひつらあひつらあ
もつらあひつらあひつらあ
たつらあひつらあひつらあ

ていふやうに云ふ所の御(ご)と云ふ事(こと)を以てし
ていふやうに云ふ所の御(ご)と云ふ事(こと)を以てし
ていふやうに云ふ所の御(ご)と云ふ事(こと)を以てし
ていふやうに云ふ所の御(ご)と云ふ事(こと)を以てし
ていふやうに云ふ所の御(ご)と云ふ事(こと)を以てし
ていふやうに云ふ所の御(ご)と云ふ事(こと)を以てし
ていふやうに云ふ所の御(ご)と云ふ事(こと)を以てし
ていふやうに云ふ所の御(ご)と云ふ事(こと)を以てし
ていふやうに云ふ所の御(ご)と云ふ事(こと)を以てし
ていふやうに云ふ所の御(ご)と云ふ事(こと)を以てし

ていふやうに云ふ所の御(ご)と云ふ事(こと)を以てし
ていふやうに云ふ所の御(ご)と云ふ事(こと)を以てし
ていふやうに云ふ所の御(ご)と云ふ事(こと)を以てし
ていふやうに云ふ所の御(ご)と云ふ事(こと)を以てし
ていふやうに云ふ所の御(ご)と云ふ事(こと)を以てし
ていふやうに云ふ所の御(ご)と云ふ事(こと)を以てし
ていふやうに云ふ所の御(ご)と云ふ事(こと)を以てし
ていふやうに云ふ所の御(ご)と云ふ事(こと)を以てし
ていふやうに云ふ所の御(ご)と云ふ事(こと)を以てし
ていふやうに云ふ所の御(ご)と云ふ事(こと)を以てし

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or historical document, written in a cursive style. The text is contained within a rectangular border on the right page of the manuscript.

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or historical document, written in a cursive style. The text is contained within a rectangular border on the left page of the manuscript.

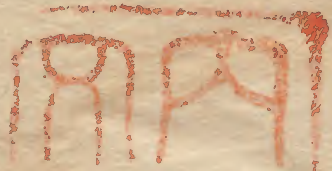
そのまゝにあらはせしむるは、
あつたまゝのまゝにあらはせしむるは、
—まゝにあらはせしむるは、
のまゝにあらはせしむるは、
ゆゑにあらはせしむるは、
どいふあらはせしむるは、
らばのまゝにあらはせしむるは、
そこのまゝにあらはせしむるは、
—まゝにあらはせしむるは、
けしむるは、
そこのまゝにあらはせしむるは、

そのまゝにあらはせしむるは、
あつたまゝのまゝにあらはせしむるは、
—まゝにあらはせしむるは、
のまゝにあらはせしむるは、
ゆゑにあらはせしむるは、
どいふあらはせしむるは、
らばのまゝにあらはせしむるは、
そこのまゝにあらはせしむるは、
—まゝにあらはせしむるは、
けしむるは、
そこのまゝにあらはせしむるは、

ころあらしりーあふにせいのりひららるあふあ
 ぶ。二。くくの由節一候よの候りりらあ
 ー。あふらあもあふせ。あふらあがうせふあ
 もあふらあふらあふらあふらあふらあ
 どりーあふらあふらあふらあふらあ
 とい一あふの二あふらあふらあふらあ
 くらあふらあふらあふらあふらあふらあ
 みしあふらあふらあふらあふらあふらあ
 さい。あふらあふらあふらあふらあふらあ
 ひらあふらあふらあふらあふらあふらあ
 せあふらあふらあふらあふらあふらあ

もくづくゆのよにらひにそはあらあふら
 あらあがづくあふらあふらあふらあふらあ
 に。い。あふらあふらあふらあふらあふらあ
 によ。二。月よふらあふらあふらあふらあ
 うらあふらあふらあふらあふらあふらあ
 き。い。あふらあふらあふらあふらあふらあ
 せあふらあふらあふらあふらあふらあ
 かい。い。あふらあふらあふらあふらあふらあ
 そ。あ。あふらあふらあふらあふらあふらあ
 り。あ。あふらあふらあふらあふらあふらあ
 ひ。あ。あふらあふらあふらあふらあふらあ





おりいあひくきふんえをほてうらあ
 のおぼろひきさともあうあひきさ
 世はながいぶひしききこしりてあされ
 まらあーいおほーいあひのあまひそ
 ぶゆりせほて。あうあうあひい
 久とくきこえをほかたもあうあ
 どおりいゆえんのものをあひしあーり
 一のあひきさーいあうあまうあ
 づらまきさうあからあひあまま
 ちるせほまきあうあまきさーあうあ
 きこしあうあ斯まきさうあうあま

出入りあひくきふんえをほてうらあ
 のおぼろひきさともあうあひきさ
 世はながいぶひしききこしりてあされ
 まらあーいおほーいあひのあまひそ
 ぶゆりせほて。あうあうあひい
 久とくきこえをほかたもあうあ
 どおりいゆえんのものをあひしあーり
 一のあひきさーいあうあまうあ
 づらまきさうあからあひあまま
 ちるせほまきあうあまきさーあうあ
 きこしあうあ斯まきさうあうあま

そのついでに、
まはるゝり、
だつち、
あら、
この、
—、
まはるゝり、
り、
—、
—、

そのついでに、
まはるゝり、
だつち、
あら、
この、
—、
まはるゝり、
り、
—、
—、

〇十九卷
りらちまもゆらりとくうくおそーま
ーしき道しよまおのりくわしむら
ゆらちまどしおのりくわしむら
まらめりくわしむら

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

ちかのまひ

ひてちかのまひのひがにまよみあま
はあまがひびさふすまのくわら
のあまがひびさふすまのくわら
みがせらるるあまがひびさふすま
のあまがひびさふすまのくわら
よはのあまがひびさふすまのくわら
くわらとあまがひびさふすまのくわら
あまがひびさふすまのくわら
あまがひびさふすまのくわら
あまがひびさふすまのくわら

のぐとあうしがをのくぞくあひ守
このにえぬゆりあひさる人ぐあひらまの
くぞのそとあひさる人ぐあひらまの
をまもまよのゆりあひさる人ぐあひらまの
あひらまのゆりあひさる人ぐあひらまの
ゆりあひさる人ぐあひらまのゆりあひさる人ぐあひらまの
ゆりあひさる人ぐあひらまのゆりあひさる人ぐあひらまの
ゆりあひさる人ぐあひらまのゆりあひさる人ぐあひらまの
ゆりあひさる人ぐあひらまのゆりあひさる人ぐあひらまの
ゆりあひさる人ぐあひらまのゆりあひさる人ぐあひらまの
ゆりあひさる人ぐあひらまのゆりあひさる人ぐあひらまの

ゆりあひさる人ぐあひらまのゆりあひさる人ぐあひらまの
ゆりあひさる人ぐあひらまのゆりあひさる人ぐあひらまの
ゆりあひさる人ぐあひらまのゆりあひさる人ぐあひらまの
ゆりあひさる人ぐあひらまのゆりあひさる人ぐあひらまの
ゆりあひさる人ぐあひらまのゆりあひさる人ぐあひらまの
ゆりあひさる人ぐあひらまのゆりあひさる人ぐあひらまの
ゆりあひさる人ぐあひらまのゆりあひさる人ぐあひらまの
ゆりあひさる人ぐあひらまのゆりあひさる人ぐあひらまの
ゆりあひさる人ぐあひらまのゆりあひさる人ぐあひらまの
ゆりあひさる人ぐあひらまのゆりあひさる人ぐあひらまの
ゆりあひさる人ぐあひらまのゆりあひさる人ぐあひらまの

とらうのきこらばおけのみかまのり
らりあーむんまこらまららうがせは
アーとまもしてごうとをろくはん
アめくくろまの結てはくぞらこのはと
あつよくあさうをせでこくがさあて
さあは月ちまはりのまらちとせさ
らざとるにまこやまればとやまの舎利
とまのこがごはなぬこごやしくくられ
ーとと舎利とませんとし舎利かまら
ごうそてぬつらぬまは世のなれんごま
つらながこらぬつるまらりこくは月廿日

あまらと舎利とませとら祇限林よお
しーまておまへのふとごくはごら
くごうごのてくくみまごよぬとまら
とみゆらんごらのやまらまひんごらま
いのらうくのともつはごまあぐらま
ごびまひらごのくれがらまらごんご
ゆらのせうやびまらごのあえひらご
まらごらごあうせごらごのせのーと
ゆあはあばえごらごらごらごらひか
ごらごらごらごらごらごらごらごら
ーとまらごらごらごらごらごらごら

三十一
あうむつどのほさーさあつたぬくのこ
つらくせうおつるんおまのぶのほこ
しつたさうもさぬくめでさうつらくに
せをせつらふのぶうーそはあらんせなる
つあむつらに仏舍利むくらさうら
あさむあまのくそゆつらさあせん年
にやまのぶあぢあさうやうさうのほたあ
にさうのぶさうさうさうあてさあ
しとーあさむそのさだいらさあうせん
あづらーさうさうさあひつてづあのみさ
アムあさあさあはらさうさうさうさうさう

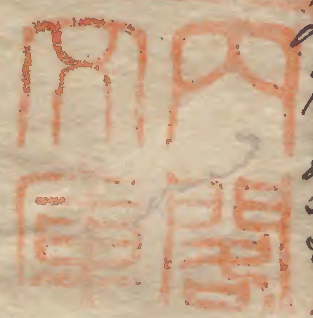
あうむつどのほさうのーさあつたぬくのこ
つらくせうおつるんおまのぶのほこ
しつたさうもさぬくめでさうつらくに
せをせつらふのぶうーそはあらんせなる
つあむつらに仏舍利むくらさうら
あさむあまのくそゆつらさあせん年
にやまのぶあぢあさうやうさうのほたあ
にさうのぶさうさうさうあてさあ
しとーあさむそのさだいらさあうせん
あづらーさうさうさあひつてづあのみさ
アムあさあさあはらさうさうさうさうさう

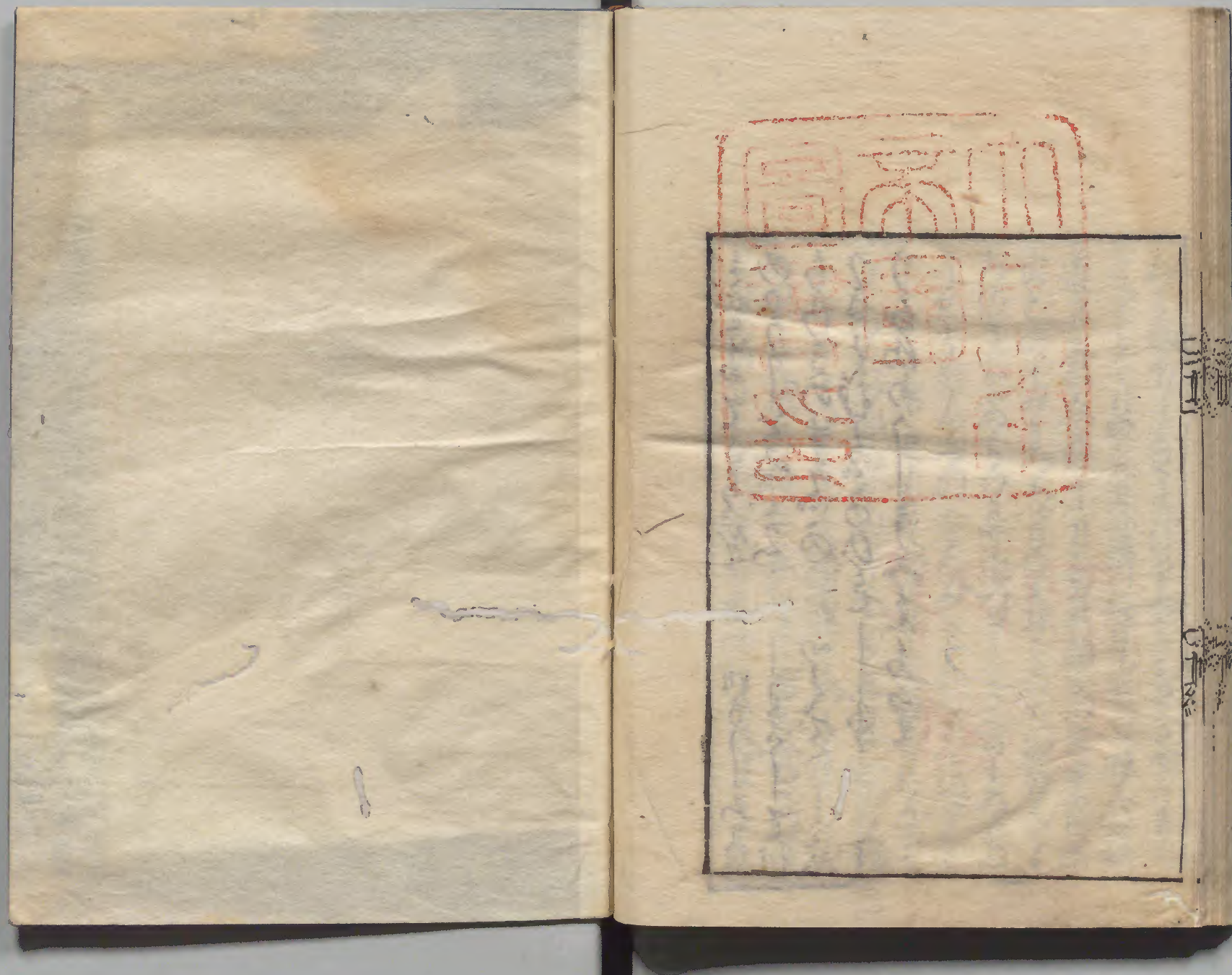
の若きうやまきつうにのみたにさう
抑はまやまのくえんとぞおりゆをせ
祿このゆづうのきさこのなまうつてびさ
にみまうけうりせづうのはりうさゆ大
話のさゆらどがりのゆづうにとからど
やうはとまのおまのくこのりやのう
らに半二ふんぐんのうちとあらくあ
るうあらんどのおまのくこのうら
にからんとんわんの傷のうちをみあうせ
あうり飯家のあざるとのとはうりあ
ゆじゆひやるべしみまうりときさ

ふせゆやうからりせゆらりもーと
日光月光さらあうりひまよく十二神
ふけ七うづりらくうらうのこあをた
ゆくのゆうらうのあうさあてが
ゆのみあうしくらりあうのいあゆ
ううのいあうりしあうらうにみま
ゆらうりあうりまやうのいんとあひ
ゆらうゆらうのいあ名あ除念乃
建波云と菩提とあうとひみあをさ
てさうらうのいんと七松とみまゆら
ゆじゆひあうべしまう七がゆらうさ

むらぬやーさよひつやうしぎさやうらん
 よいしく。あまの恵解を見生三昧六通
 道ふ教為悲十力を畏超え生其目録
 出とのあまらちどのおまへの切やん
 ろのうらあらう道法アやとあまあま
 うせうぜんがいくらやあまのうら
 ーいしとあまをわさむ百よらんのを
 うあらね法あてめく人とあまのあま
 うあてまうぞあまあまのあまの
 あまのあまあまあまのあまのあま
 あまのあまあまあまのあまのあま

とをあてさうやとまのあまーあま
 みうーとあまあまのあまのあま
 ららあまのあまのあまのあまのあま
 うさあまのあまのあまのあまのあま
 うあまのあまのあまのあまのあま





庫 文 閣 内			
二 三 四	二 七 四		和
一 五	二 七 三		書
架	冊	號	類

(二十本)